

日本万国博覧会記念基金事業

2025年度助成金および奨学金贈呈式&事例発表会

2025年8月7日／大阪工業大学 梅田キャンパス 常翔ホール

国内外64団体に 総額2億円を助成

関西・大阪21世紀協会は、2025年度の万博記念基金助成事業として、国内外から申請された316件の中から64件を採択し、総額2億円の助成を決定しました。また、日本文化を研究する外国人留学生(大学院修士課程)を対象とした奨学金給付事業については、全国の8大学からそれぞれ推薦された6名に奨学金の給付を決定しました。

8月7日にその贈呈式が行われ、出席した助成事業者32団体の中から、代表として3団体と奨学生6名に崎元利樹理事長から目録が手渡されました。

贈呈式の後、2024年度助成事業者から1団体、2025年度助成事業者から1団体の事例発表が行われました。



2025年度の助成団体の皆さん

2025年度 申請と採択の内訳

	申 請		採 択	
国内外合計	316件	13億1,855万円	64件	2億円
国外事業者(内数)	(36件)	(1億3,191万円)	(4件)	(1,170万円)

※申請件数316件および採択件数64件には、それぞれ2023年度・2024年度の複数年度助成事業(継続)各1件を含みます。

2025年度奨学生決定

日本文化を研究する外国人留学生への 奨学金給付事業

万博記念基金では、「日本文化を研究する外国人留学生を対象とした奨学金給付事業」の2025年度奨学生として、6名の奨学生を決定しました。今後、日本文化を学ぶ機会や交流の場を設け、奨学生同士や当協会とのつながりを深めて、将来「日本と外国との架け橋」となる人材を育成していきます。



奨学金目録の贈呈



梁 璐

(リョウ ロ)さん
〈中国〉

九州大学
大学院芸術工学府
芸術工学専攻

この度は奨学金を賜り、誠にありがとうございます。郷土玩具を題材とした定格アニメーション制作を通じ、地域文化の魅力丁寧に伝えてまいります。ご支援に心より感謝申し上げます。



方 芳

(ファン ファン)さん
〈中国〉

京都市立芸術大学
大学院音楽研究科
日本音楽研究専攻

私の研究分野にご理解とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。今後は芸術とテクノロジーの融合研究に注力し、国際的な文化交流に貢献できるよう努めてまいります。



YE KAILIN

(イエ カイリン)さん
〈オーストラリア〉

筑波大学人間総合科学学術院
人間総合科学研究群
世界遺産学学位プログラム

奨学金の支援をいただき、世界遺産専攻の研究に専念することができました。今後は研究を通じて得た経験を活かし、各地の伝建地区の発展に貢献していきたいと考えております。



李 季睿

(リ キエイ)さん
〈中国〉

筑波大学人文社会ビジネス科学学術院
人文社会科学研究群
国際日本研究学位プログラム

ご支援に感謝しています。日本語学習者の課題解決を中心に勉学と研究に励み、日本語とその奥に潜む日本文化を学習者に伝え、学習者をサポートできる教師となるよう努めてまいります。



張 曉然

(チョウ キョウゼン)さん
〈中国〉

東京大学大学院
総合文化研究科
言語情報科学専攻

日本の高度経済成長期の文学を冷戦期東アジアの文脈で研究しています。戦後日本の国民的想像力や文化的記憶が東アジアにどう響いていたのかを探り、歴史共有の架け橋になりたいです。



陶 国亮

(トウ コクリョウ)さん
〈中国〉

早稲田大学大学院
文学研究科
人文科学専攻

この度は奨学金をいただき、誠にありがとうございます。専攻分野の日本語研究を深め、将来は専門的な日本語教師として日中友好に貢献したいと考えております。今後も努力を重ねます。

事例発表会

助成団体の活動紹介

日本・カンボジア未来交流プログラム2024 〈2024年度助成〉

特定非営利活動法人 ACROSS

日本・カンボジア相互の 国際理解教育を目指して

このプログラムの目的は、①若者同士の国際理解の促進、②英語によるコミュニケーション体験、③カンボジアの女子教育の支援となっています。相互訪問の交流を通して、日本とカンボジアの若者の相互理解を深め、国際的な視野を広めることにより、両国の国際理解教育を推進することを目指しています。

2024年度は7回目の開催となりました。2025年1月にカンボジアの学生が日本へ来日し、北九州、京都、大阪、東京を訪問しました。現地の中学校や高校で授業に参加したり、フィールドワークを行ったりして、交流を図りました。また、2月には日本の学生がカンボジアを訪問し、



事例発表の様子

現地で様々な体験をしました。

2024年度の交流人数は800人を超え、参加者には、相手国の文化を体験できて貴重な時間を過ごすことができたと言われています。

秋津島太鼓祭 in EXPO 〈2025年度助成〉

秋津島太鼓祭

万博会場での和太鼓演奏で、 日本の伝統芸能の魅力を発信

事例発表の前半は、2025年7月3日に大阪・関西万博会場内にあるEXPOアリーナ MATSURIにて開催された「1,000人和太鼓～輝け魂の鼓動～in EXPO 2025」の事業概要をご説明し、後半はそのメンバーの元気あふれる太鼓の演奏を行いました。

この事業の目的は、①日本の伝統文化・和太鼓の演奏を通じて、日本の芸能の魅力を広く発信する、②観る人々に感動を与え、日本芸術文化への理解を深めてもらう、③和太鼓製作の技術伝承のため、和太鼓愛好者の創出につながる施策をほどこす、などです。今回は万博会場に日本だけでなく世界中の太鼓演奏者が1,000人集結し、太鼓を打ち鳴らしました。1,000人が一つになって打ち鳴らした音はただの演奏ではなく、それぞれの「想い」が重なった“魂の鼓動”です。年齢も、国籍も、障がいの有無も越えて、太鼓という一つの楽器でつながることができた奇跡に、深く感動しました。この事業をきっかけに、和太鼓が「音楽」ではなく、「心と心をつなぐ架け橋」であることを沢山の方に感じていただき、今後も地域の垣根を越えた文化交流の場を大切に、活動が続けてまいります。



事例発表の様子



秋津島太鼓実演の様子

日本万国博覧会記念基金事業

世 世界各国で助成が生かされています。
万博記念基金の半世紀を超える歴史の中で、助成を活用して建設された海外の施設についてご紹介します。

<第9回>

日本庭園・武道場（カナダ）



万博記念基金では、カナダで最も人口の多い都市トロントで1972年には日本庭園を、1999年には武道場が建設されるにあたり、助成を行いました。カナダ日系文化会館（旧：トロント日系文化会館）のエグゼクティブ・ディレクターであるジェロルド・マグラスさんより、現在の状況等をご報告いただきました。

助成年度	助成事業名	助成金額
1972年	日本庭園建設	13,477,500円
1999年	新館における武道場の建設	20,000,000円



日本万国博覧会記念基金のご支援により、カナダ日系文化会館は美と学び、そして文化交流の場を創出することができました。施設や所在地は時代とともに変遷しましたが、ご支援に込められた友情と文化的つながりの精神は、今もなお当館を物語る重要な一部として息づいております。

当館の道場は現在も非常に活発に利用されており、柔道、空手、合気道、杖道、剣道、弓道、居合道、薙刀の各プログラムを実施しております。これら武道プログラムは全て日本の団体と提携しており、国内外の武道連盟にも正式に認定されております。

設立から60年以上の歴史の中で、当館は数多くの優勝者や国際大会出場選手を輩出してまいりました。指導者たちは単に型やわざを教えるだけでなく、武道に深く根差した伝統や礼節も教育の重要な一部として伝えています。

また、クラスは年齢や経験レベルに応じて構成されており、年間4期のセッションを実施し、各期500名以上、年間合計で2,000名を超える参加者を受け入れております。



クリスマストーナメント団体戦（2002年12月21日）



助成先の事業紹介 2025年度助成事業の中から、事業者より寄せられた内容をご紹介します。

International Exchange Concert & Japanese Premiere of Dai Fujikura's 'Sho Concerto' for Yuki Deai

事業者：BIRMINGHAM CONTEMPORARY MUSIC GROUP
実施期間：2025年4月13日～7月3日

助成金額：300万円
実施場所：CBSOセンター(イギリス)、東京オペラシティリサイタルホール

1987年、サー・サイモン・ラトルによって設立された現代音楽の名門バーミンガム現代音楽グループ(BCMG)が、山田和樹の指揮で東京オペラシティリサイタルホールにて、革新的な演奏会を6月30日に開催しました。日本の現代音楽界を牽引する英国在住の作曲家・藤倉大が、雅楽器・笙のために作曲した日本初演となる新作『笙協奏曲』を、笙奏者・出会ユキを迎えて披露しました。さらに、レベッカ・サンダースによる空間的な響きが印象的な作品と藤倉大のアンサンブル作品『An Anthem』(日本初演)も演奏しました。古代の概念と現代の感性が交錯する、ジャンルを超えた音楽の力を体感でき、変化を恐れず常に新たな音楽の創造に挑むBCMGの演奏は貴重な機会となりました。



《バーミンガム公演》BCMG

愛知県芸術劇場 & 県内ツアー公演『CLUB ORIGAMI』

事業者：公益財団法人愛知県文化振興事業団
実施期間：2025年7月23日～8月7日

助成金額：500万円
実施場所：愛知県芸術劇場 小ホール、他県内6か所の劇場

イギリスを拠点に活躍する日本人ダンスアーティストを含むカンパニー「ICHI NI SAN」による、日本の伝統文化「折り紙」をモチーフとしたダンス、ファッション、生演奏が一つになった舞台芸術作品『CLUB ORIGAMI』を、愛知県の尾張地域・東三河地域・西三河地域の計7か所の劇場で巡回公演をしました。本作品は、世界17か国で1万人以上を動員した鑑賞・体験型パフォーマンスで、観客一人一人が創造を膨らませながらアーティストとともに舞台の一部である「紙」に触れ、作品を楽しみました。子どもはもちろん、大人にとっても新しい世界を知るきっかけとなり、心に残る劇場体験になりました。



(photo by HATORI Naoshi)

第7回東京国際合唱コンクール

事業者：一般社団法人東京国際合唱機構
実施期間：2025年7月25日～7月27日

助成金額：320万円
実施場所：第一生命ホール(東京都中央区)

第7回東京国際合唱コンクールは、合唱音楽の振興と国際交流の推進を目的に開催されました。日本を含め世界9つの国と地域から合唱団が集い、約1,500名の参加者がハイレベルの熱演を繰り広げました。各団体は厳正な音源審査を経て本選に臨み、クラシックから現代作品まで多彩なプログラムを披露。審査員には国内外の著名な指揮者・作曲家を招聘し、公平かつ高度な評価で実施しました。今年は東京都中央区の尽力もあって合唱団同士の交流イベントが実現し、国境を越えた合唱文化の理解促進と友好の深化を図ることができました。3日間にわたり延べ数千人の来場者が、国際都市・東京にふさわしい文化交流の場として大盛況のうちに幕を閉じました。



(写真：長谷川恭子)